

特集

★障がい者スポーツに取り組むクラブ★

湖南省ちよいスポクラブ 滋賀県湖南省

総合型地域スポーツクラブ(以下、総合型クラブ)は、障がい者スポーツの推進などのさまざまな地域課題の解決に向け、地域スポーツ団体等と連携を図ることが重要となってきます。また、地域コミュニティの核として期待されている総合型クラブは、地域の障がい者がスポーツに親しむことができる環境を今後さらに提供することも望まれています。

そこで今回は、障がいのある方の社会参加の推進を目的に、障がい者スポーツに取り組んでいるクラブについて紹介します。

1

クラブ概要

スポーツを通して夢が語り合える交流を

湖南省ちよいスポクラブは誰もが気軽に楽しく参加でき、スポーツを通して夢が語り合える、多世代の交流を基本理念として活動しています。クラブの活動は、自分に合ったスポーツを、自分のペースで楽しめるので、継続的に無理なくスポーツに親しむことができます。また、定期的に健康体力測定を実施することで、クラブ会員個々の健康意識の向上にも努めています。

●クラブ情報

会費: 入会金1,000円(保険料別途)、個人会費3,000円、ファミリー会費5,000円、高校生1,000円、小中学生500円

活動場所: 湖南省総合体育館、野洲川親水公園、石部文化総合センター、三雲小学校、三雲東小学校、菩提寺小学校

関係機関: 三幸・スポーツマックス共同事業体(指定管理団体)

活動日: 火曜／9:30～11:30、13:30～15:00

水曜／10:00～12:00

木曜／9:30～11:30

金曜／10:00～11:00(石部会場)、13:30～15:00

スポーツ教室: ウォーキング、ランニング、ゴルフ、グラウンドゴルフ、ボウリング、健康バンド、ニュースポーツ、スケート

●各教室でのサークル活動

スポーツイベント: ちょいスポ大会

(バドミントン、パドルテニス、ビーチバレー、卓球、ニュースポーツ)

ゴルフ大会: 月1回 (2月、8月は休み)

グラウンドゴルフ大会: 月2回 水曜日午前・午後

ボウリング大会: 月1回 水曜日午前

●その他の取り組み

- ・新春ウオーキング: 毎年の恒例事業 / 1月3日午後1時スタート
- ・体力測定: スポーツ庁の新体力テスト実施要項を基に年1回クラブ会員の健康体力測定を実施
- ・AEDの講習 (年1回): 最低1回は受講の義務化を目標に
- ・クラブ間の交流大会参加: 総合型クラブ間の交流大会参加



新春ウオーキング



スケート教室



スラックライン体操



AED講習会



健康バンド

2

障がい者スポーツへの積極的な取り組み

パラスポーツチャレンジプロジェクトへの参画

湖南省ちよいスポクラブで近年、特に注力しているのは、滋賀県が令和2(2020)年度から推進する「パラスポーツチャレンジプロジェクト」への参画です。この事業では、障がい者のスポーツへの興味関心を広げ、身近にスポーツに親しむことができる環境を整備することを目的とし、特別支援学校等を活用した軽スポーツ教室の実施などに取り組んでいます。当クラブも、本事業の実行委員会に所属し、各種事業の実施に協力しています。

初めは、県立三雲養護学校の体育館を使用して、養護学校の生徒を中心に、パラスポーツの楽しさを伝える軽スポーツ教室から始めました。募集チラシを制作して、養護学校内や障がい者雇用の事業所へ配布するなど告知活動に力を入れ、小学生から社会人までが集まりました。やがて参加者が増えてくると、会場を湖南省総合体育館に移しました。現在の参加人数は25人前後になります。

国スポ・障スポ2025をめざす知的障がい者バレーボールチーム

障がい者スポーツの取り組みとしてもう一つ重要なのが、知的障がい者バレーボールチームの活動です。県からの要請もあり、令和7(2025)年に滋賀県で開催される「国スポ・障スポ2025」に向けて、障がい者スポーツのバレーボールチームを立ち上げました。

湖南省総合体育館を会場に、当初は月3回、土曜日または日曜日の午前9時30分から2時間の練習時間でスタート。そして今年度からは、国スポ・障スポで実際に会場となる湖南省総合体育館大アリーナで、月4回、土曜日または日曜日の9時～12時(月1回は9時～16時)と回数を増やして実施しています。また、昨年度までは男女別々に練習していましたが、今年度からは活動日も同じ日にして交流を図りやすくしています。

指導スタッフにはバレーボール経験者が加わり、会場は指定管理者の協力のおかげで3カ月先まで確保できています。遠征費用や会場費、ユニフォーム代、道具代、消耗品などの経費は、滋賀県競技力向上対策本部などからの補助を受けています。

他県開催大会への参加や健常者チームとの交流機会などで経験を積む

バレーボールチームの選手は経験者もいますが、未経験者が大半です。最初のころは養護学校の生徒がほとんどでしたが、コロナ禍が過ぎ、今では社会人になった選手が多数となりました。そのため、それぞれの休日や職場の都合に合わせた練習日の調節が大変になっています。遠くからの参加者もいるため、クラブは最寄りのJR駅まで送迎をだすなどのサポートを行っています。

最近ではクラブが引率し、他県との交流大会や他県開催の障がい者バレーボール大会、近畿大会に参加するなど、徐々に試合経験を積んでいます。監督主導で健常者のバレーボールチームとの交流機会をつくったり、今後はVリーグや一般大会の試合見学なども計画しています。

選手間の話し合いでキャプテンを選び、練習後には必ず反省会を開いてから解散しています。監督からの話はノートにメモを取り、自分の感想や課題などを記入して提出するなど、選手たちは積極的にバレーボールに取り組んでいます。



湖南市総合体育館



会場風景

3

その他の会員サポート

クラブ活動を充実させる立命館大学スポーツ健康科学部との交流

障がい者スポーツを含め、クラブは立命館大学スポーツ健康科学部と協力し、先生方や学生との交流を積極的に実施しています。大学とクラブのサポート関係を継続、発展させていくなから、今後もよりよいクラブ活動が生まれてくることを期待しています。

<主な交流プログラム>

- ①キッズの運動指導の依頼
- ②高齢者の運動指導、体力測定協力
- ③健康バンド指導者講習会

会員を助ける名札とスタンプカードの活用

クラブのルールとして徹底しているのが、会員の名札(ネームプレート)の携行です。会員にはクラブでの活動時に、自分の名札を運動着やバッグ、用具に必ず付けることをお願いしています。名札の裏面には①緊急連絡先を2カ所以上記入、②血液型の記入、また、かかりつけ病院があれば、病院名も記入します。特に高齢者の方は、非常事態に備えるうえで、とても大切なことです。

また、クラブ会員にはスタンプカードを配布し、参加する日の体温を記入することも義務づけています。スタンプが30回たまると、ナイロンのゴミ袋がプレゼントされ、特に女性会員から好評です。

障がいのある人たちの社会参加が推進されることを目的に

障がい者スポーツへの取り組みは、スポーツの楽しさを伝えるだけでなく、障がいのある人たちの社会参加が推進されることを目的に実施するもので、本クラブの基本理念に合致した活動だと考えています。

今後もクラブの基本理念である、誰もが気軽に楽しく参加でき、スポーツを通して夢が語り合える、多世代の交流を大切に活動していきたいと思います。

湖南市ちよいスポクラブ 会長 九條親道

クラブプロフィール

設立年月日 平成20(2008)年2月14日

所在地 滋賀県湖南市夏見589番地

運営 会員数:231人(令和6年3月現在)、予算規模185万円(2023年度)

特徴

- ①道具購入時には他の団体と連携して同じ器具を購入する(ボッチャ等)
- ②毎回いろんな種目で活動が可能
- ③ちょいスポ大会をちょいスポルールで開催
- ④ボランティア作業には積極的に参加(草引き・大掃除)
- ⑤ゴルフのハンディキャップは1回参加で1プラス、誰もが優勝のチャンスあり
女子のドラコンやニアピンホールあり
- ⑥ボウリングはアメリカンやヨーロッパアンでの投球(参加人数で決める)

連絡先 〒520-3223 住所:滋賀県湖南市夏見589番地
湖南市総合体育館
TEL:0748-72-4990